

Nature



星空

雨

雨の日は、たっぷりのカフェオレを入れてぼんやり外を眺める。

ほのかに漂う珈琲の香り。

しとしと雨だと、懐かしいあの日の思い出。

ざあざあ雨だと、泣いてたあの日の思い出。

どれも、過ぎ去った思い出たち。

今、私はここにいる。

これから新しい思い出たちが作られていく。

楽しいこともあるだろう。

苦しいこともあるだろう。

でも、その一瞬を過ぎれば思い出になっていく。

どんなこともその場、その場で笑って過ぎ去っていこう。

さて、今からどんな思い出を作っていこう。

楽しみだな。

晴れ

晴れた日は、そう外に出てみよう。

私は自転車で音楽を聴きながらお出掛けをするのが大好き。

車じゃダメ。

自転車で風を感じながら、おひさまの光を感じながら。

お気に入りの曲がかかったら、思わず口ずさんでしまう。

周りの人なんか気にしない。

周りの人も気にしてない。

晴れた日は、そう外に出てみよう。

私は読みかけの本を持ってお散歩するのが大好き。

お気に入りのカフェでもいい。

近くの公園のベンチでもいい。

そこが私だけの読書空間に変身。

外の季節の空気を思いっきり香って、深呼吸。

みちのべの小花

みちのべの小花は優しい気持ちにしてくれる。

普段は何気なく通り過ぎてしまう道でも

ふと足元を見れば、見てくれと言わんばかりに咲いている。

季節季節によって、咲く小花は違う。

その小花たちを気付いてあげて。

桃色、黄色、紫色。

大きな花より目立たないけど、大きな命を感じるよ。

特に春先に、枯れ草の間から力強く咲き始めた小花が好きだ。

厳しい冬が過ぎ去り、暖かい春が始まる。

桜のように華やかではないけれど、小さな小花の絨毯は美しい。

しゃがみこんで、小さな小花を見てみよう。

ほほえましい時間がやってくる。

さえずり

田舎町、電車待ちのホーム。
ホームの向かいの森から小鳥のさえずりが聞こえてくる。
仲間を呼んでいるのだろうか。
口笛を吹いているのだろうか。
目を凝らして見ると、小枝の先に小鳥が一羽いる。
私と目が合ったのか、すぐに飛び去ってしまった。

また別の小鳥のさえずりが聞こえてきた。
今度は姿が見えない。
名前も知らない小鳥たちがたくさんいる。
一羽、一羽、美しい声を持っている。
楽しいさえずりを聴いていると、私まで楽しくなってくる。
ああ、電車が来なければいいのに。
しばらく小鳥のさえずりを聴いていたい。

小川

散歩すると、小川に目をやる。

きちんと整備されていない小川。

小川の両端には雑草が生えている。

ゴミも捨てられている決して美しいとは言えない小川だ。

でも、私はこの小川が好きだ。

季節、天気によって流れる水の量が変わってくる。

毎日変わる水の量が変るのが楽しみだ。

大雨、田植えの時期はたくさん水が流れて、

雑草も哀れになぎ倒されている。

しっかりものの雑草だ。

決して水の流れに負けずにしっかりと根を張り、よみがえる。

さて、散歩に出掛けようか。

今日はどんな小川表情を見せてくれるだろう。

焦らない

恋したい。

恋に恋しているのかな。

でも、君を見つけない。

君との恋が始まれば、嬉しいこと、悲しいことが待っている。

片思いの間は苦しいけど、傷つくことは少ない。

まだ誰も恋する人がいないときは、焦って恋する人を探してしまう。

自分だけ？

他にもすることあるでしょう。

他にも楽しみあるでしょう。

でも、焦ってしまう自分がある。

恋をしていないと生きる張り合いがない。

恋をしていると毎日が輝いて見える。

焦らないで。

神様は時期が来たら、そっと引き合わせてくれるよ。

涙

嬉しい涙。

ありがとう。褒めてくれた。感動した。

悲しい涙。

辛かった。別れた。傷ついた。

人と人が生きていくと涙がついてまわる。

涙を流すと心が癒される。

世界で一番透明できれいな水って聞いたことがある。

いろんな気持ちが涙で浄化されていく。

大切な大切な涙。

人を泣かせてしまったら心が苦しくなる。

人に泣かされても心が苦しくなる。

だからって泣かせる、泣かされることを否定してはいけない。

人が生きていくと涙はついてまわる。

涙は心を癒してくれる優しいお薬。

ありがとう

いつも忘れてはいけない言葉。

「ありがとう。」

嬉しいことには自然とありがとうって言葉が出る。

でも、嫌なこと、辛いことがあっても

「ありがとう。」なんだよ。

もちろん、心の中でね。

ああ、いい経験させてもらったな。

これで人の痛みを知ることができたな。

もっと人に優しくなれるな。

辛いよ。

「ありがとう。」なんて思ってもらえない。

ちょっと訓練すればいい。

ご飯が食べれてありがとう。笑うことができてありがとう。

そして、生きてられてありがとう。

記憶

憶えてる。

いろんな情景。いろんな気持ち。

今は科学的に記憶が解明されつつある。

それはロマンティックでない。

記憶って大切なもの。

勉強とか知識とかあるけど

それはロマンティックでない。

こういう出会いがあったな。

こういう別れがあったな。

こういう人との繋がりがあったな。

こんな記憶があるから生きてられる。

これから先も人やものとのつながりで記憶が増えていく。

忘れてしまう記憶もあるけど、新しい記憶の方がわくわくする。

そんな記憶を大切にしていきたい。

さようなら

また出会う日まで。

さようならなんて悲しい言葉かな。

永遠に別れの言葉にもなっちゃう時がある。

考えれば考えるほど難しい言葉。

簡単に口に出せるけど、簡単に理解できるけど。

君が言った「さようなら。」はどういう意味？

明日、また会えるさようなら？

ずっと会えなくなるさようなら？

「さようなら」は「それならば」って意味なんだって。

だから「それならば」って続きがあるんだ。

会えなくなっても心の中で会える。

会えなくなっても夢の中で会える。

じゃあ、悲しい言葉じゃないんだ。

どんなに辛い別れでも、「さようなら。」笑顔で言ってみよう。